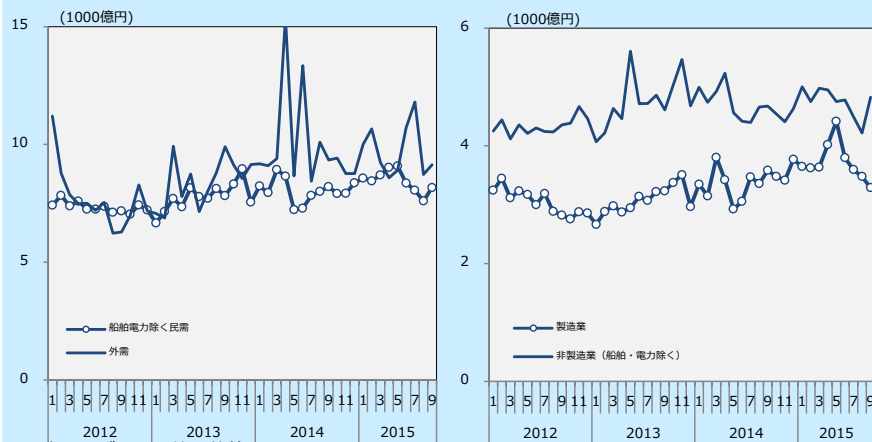


# 日本:機械受注統計 (2015年9月)

## —4か月ぶりに増加も、基調の弱さは変わらず—

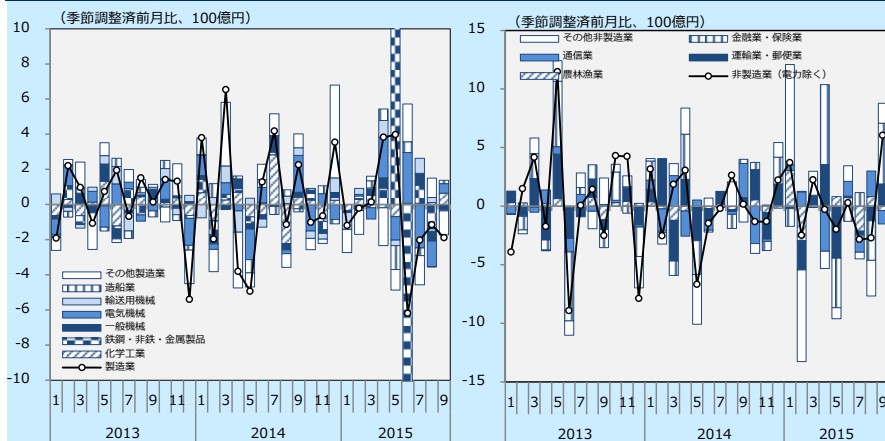
*MRI Daily Economic Points*  
November 12, 2015

### 機械受注額／製造業、非製造業の機械受注額



注: いずれも季節調整値  
資料: 内閣府「機械受注統計」

### 製造業の機械受注額の寄与度分解／非製造業の機械受注額の寄与度分解



資料: 内閣府「機械受注統計」をもとに三菱総合研究所作成

### 評価ポイント

#### 2015年9月の結果

- 15年9月の機械受注額は、船舶・電力を除く民需が季調済前月比+7.5% (前年同月比▲1.7%)と、4か月ぶりの増加となった。7-9月期の機械受注は、▲10.0%とリーマンショック時(08年10-12月期、同▲14.2%)以来の大幅なマイナスとなった。外需は同+4.8% (同▲0.9%)と2か月ぶりに増加した。
- 9月の機械受注額を業種別にみると、製造業は季調済前月比▲5.5%、非製造業(船舶・電力除く)は同+14.3%となった。
- 製造業は、6月以降受注額が減少している。一般機械は季調済前月比▲3.2% (前月同▲6.8%)、輸送用機械は同▲1.5% (前月同+5.0%)と減少。電気機械は、同10.5% (前月同▲22.1%)と、3か月ぶりに増加した。
- 非製造業の受注額は、金融保険業で大型案件があったとみられ、3か月ぶりに増加した。業種別にみると、金融保険業が季調済前月比+104.5% (前月同▲40.4%)と大幅に増加したほか、運輸郵便業が同33.9% (前月同▲18.4%)と増加。通信業は同▲19.8% (前月同+61.8%)と減少した。

#### 基調判断と今後の流れ

- 機械受注は、4か月ぶりに増加したものの、金融保険業の大型案件による影響が大きく、中国経済をはじめとする新興国経済減速などを背景に、基調の弱さは変わらない。
- 10-12月期の機械受注の見通しは、船舶・電力を除く民需で季調済前期比+2.9%と2四半期ぶりの増加が予測されている。ただし、前期の大幅減少からの回復力は鈍く、機械受注は引き続き低調な伸びにとどまりそうだ。
- 先行きは、非製造業を中心に設備不足感が強く、生産の持ち直しを背景に、機械受注は緩やかに持ち直していくと予想する。ただし、新興国経済減速の不安から、企業が設備投資計画の実行を遅らせる(あるいは見送る)可能性には注意が必要だ。